

夜のふたつ

母さん、あなたと分けて
同じ空気を食べて
あなたは 小さく食べて

夜をふたつだけ 過ごしました

無言の、たくさんの語らいは
ゆくりなくも ゆたかです
それは歴史だし、いのちです

あかるさも、暗さも分けあって

あなたは旅の支度をして
ぼくは とどまる準備をして
ゆたかで、しずかで

おそらく これは確かなこと

記憶の中のあなたは育ちます
息を閉じたあとで
ゆたかに語りあい、微笑みあい

きおくのあなたを育てるのは
ぼくの務めであり
願いであり、よろこび

2022年 4月 9日
三七日の14:58分脱

香川 真澄